

講義名	原価計算論B			授業形態	
担当教員	永田 大貴	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	ACC361

**主題と概要**

利益は、利益＝収益－原価で表される。この関係から、企業経営では原価を把握し、原価構造を理解することが重要となる。本講義（原価計算論B）では、原価計算論Aで扱った基礎を前提に、日商簿記検定2級相当の工業簿記（原価計算）の範囲のうち、特に総合原価計算を中心に学ぶ。あわせて、標準原価計算および直接原価計算の基礎を扱い、原価管理や意思決定における原価情報の使い方を確認する。講義と演習を組み合わせて、計算問題を反復して定着させる。

**到達目標**

本授業は、高学部DP（複眼的視点に立った問題解決）および、経営学科DP（問題探索・課題提案）、会計コースDP（会計情報の作成・分析等）に基づき、以下を到達目標とする。

1. 原価の集計・配賦の考え方を踏まえ、原価計算の目的や意義を理解できるようにする。
2. 総合原価計算の計算方法を学び、大量生産における原価計算の考え方を理解できるようにする。
3. 標準原価計算および直接原価計算の基礎を学び、原価管理の方法や意義を理解できるようにする。

**提出課題**

毎回の演習問題を提出課題とする。必要に応じて小テストを実施する場合がある。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

毎回の授業の冒頭に、前回の演習問題の解説を行う。必要に応じて、小テストおよび期末試験についても、実施後に講評と解説を行う。

**評価の基準**

提出課題（毎回の演習問題）60％、期末試験40％とする。

**履修にあたっての注意・助言他**

授業では計算問題を扱うことがあるため電卓が必要。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.インサイト原価計算。	加登 豊 編	中央経済社	2,640	9784502286704
-------------	--------	-------	-------	---------------

**その他**

**授業計画**

- 第1回 原価計算論Bの導入（総合原価計算の位置づけ）  
予習内容：原価計算（総合原価計算）の意義について調べておく（120分）  
復習内容：講義内容を整理し、用語と全体像をまとめる（120分）
- 第2回 単純総合原価計算（月末仕掛品原価の計算）  
予習内容：仕掛品とは何かについて調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第3回 単純総合原価計算（平均法・先入先出法）  
予習内容：平均法と先入先出法の違いを整理しておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第4回 減損および仕掛  
予習内容：減損と仕掛の考え方を調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第5回 工程別総合原価計算  
予習内容：工程別総合原価計算の特徴を調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第6回 組別総合原価計算  
予習内容：組別総合原価計算の考え方を調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第7回 等級別総合原価計算  
予習内容：等級別総合原価計算の考え方を調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第8回 財務諸表作成のための原価計算  
予習内容：製造原価報告書について調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第9回 前半のまとめ（第1回～第8回の整理と総合演習）  
予習内容：第1回～第8回の授業資料を事前に閲覧し、要点を整理する（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第10回 標準原価計算（原価差異の計算）  
予習内容：標準原価計算の目的を調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第11回 標準原価計算（直接材料費差異・直接労務費差異）  
予習内容：差異分析の意義を整理しておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第12回 標準原価計算（製造間接費差異）  
予習内容：製造間接費の差異分析の考え方を調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第13回 直接原価計算（O/P分析）  
予習内容：直接原価計算とは何かを調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第14回 直接原価計算（固定分解）  
予習内容：固定分解を行う意義を調べておく（120分）  
復習内容：計算手順を確認し、演習を解き直す（120分）
- 第15回 後半のまとめ（第9回～第14回の整理と総合演習）

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A～L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本科目は、企業が製品やサービスを提供する上で発生する原価を把握し、原価情報を用いて企業活動を整理するための基礎を扱う。総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算の学習を通じて、企業の原価構造や原価管理の方法を理解する観点をもつ。また、工業簿記（原価計算）の手帳を学ぶことで、会計コースDPに示される会計情報の作成・分析に接続する。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

授業では、講義に加えて毎回演習を行い、解答の共有を行う。ICTはLMS/Teams等を用い、資料配布、演習問題・解答の提示、質問受付、連絡事項の共有を行う。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**